

あなたは

ホクホク派？ ねっとり派？

(ベニアズマ、金時)

(べにはるか、安納いも)

簡単！プランターで
サツマイモ栽培

用意するもの
「カットパック苗」・「大きいプランター」・「元肥入り野菜用土」



植え付け：5/上～6/下旬

夏：追肥 8/上～中旬

秋：収穫 9/中～10/下旬



適期

寒冷地・6/上～6/下
中間地・5/中～6/中
暖地・5/上～6/上

プランターを

ひっくり返す

ここがポイント!!



収穫

カットパック1個(4本)で
簡単に、たくさん、収穫できます!

「ベニアズマ」「金時」・・・植え付けから120日前後
「べにはるか」「安納いも」・・・植え付けから140日前後

※植え付け時期や収穫時期は、地域によって異なります。

1. 用意するもの



もし購入した苗が小さい場合は・・・
やや伸ばし気味に大きくなってから
植え付けたほうがよい。



・**カットパック苗**(4本入り)1個

・40リットル位の大きな**プランター**。出来るだけ大きいほうがよい。
(イモがスノコの溝に入ってしまうため、底にスノコの無い物がよい。)

・**用土**は元肥が入っている野菜用土を用意する。
(プランター栽培は、元肥がしっかりと入っていたほうが上手いく。)

2. 植え付け準備 *ここがポイント*

・プランターに用土を8~9分目位入れておく。



苗をパックから取り出し、根
の部分をハサミで半分位、
しっかりと切り取る。



残った根の部分に、太い根やピンク
がかった根があれば、取り除いておく。
(太い根やピンクの根は、そのままにしておく、
これがイモになり、収量が少なくなる。)

3. 植え付け 《 植え付け時期 5月中旬~6月中旬 (関東基準) 》

・4株植えるので、プランターに均等になるように位置決めをする。



穴を掘り、深さ3センチ位の
場所へ苗を斜めに置き、
2~3節土の中へ埋め込む。

(左の画像のように、手で
持っている所まで埋め込む
と、3節位土の中に入る。)



4株同じように植え付ける。
植えた苗が動かないように、ジョウロで軽く
水やりをする。
(最初の水やりは、タップリかけないで、
全体が湿る程度でよい。)
しばらくすると、生育が始まる。

4. 置き場所・水やり・追肥

・置き場所は、出来るだけ日当たりの良い場所へ置く。
プランターの底が地面についている場合は、レンガなどを置いて、空間があくようにする。

・水やりは、苗が小さい時は表面の用土が乾き始めたら、用土全体がしっとり濡れる程度
でよい。苗が小さい時、雨で濡れていれば、かけなくてもOK。
大きく育ってきたら、乾いたらタップリが基本。濡れている場合はかけない。
特に8月中旬以降は、乾いたら、かなりタップリかけてよい。

・植え付けから2か月以上過ぎた8月上旬~中旬頃に、追肥を施す。
化成肥料なら、目安として片手で2握りほど用土の表面にばら撒く。

5. 収穫 《 収穫時期 植え付けから120~150日が目安 》

「ベニアズマ」「金時」・・・ 120日前後、「べにはるか」「安納いも」・・・140日前後

・晴れの日が続く、天気の良い日に収穫をする。



上部の葉を切り取ったら、プラン
ターの場合、上から掘るのは難し
いので、プランターをひっくり返す。



用土を取り除きながら、イモが折れない
ように丁寧に収穫をする。

6. 保存

・収穫後、軽く土を落とし、傷の付いたイモをより分ける。
(傷が付いた物は、保存に向かないので、早めに食べる。)

・風通しが良く、雨の当たらない日陰または半日陰に、新聞紙を敷きイモを並べる。
土が付いたままで、2~3日ほど乾かす。
(水で洗わないほうがよい。洗うと腐りやすくなり、保存が難しくなるため。)

・乾いたら土を手ではらい落とし、出来れば1本ずつ新聞紙に包む。
・段ボールまたは発砲スチロールの箱に新聞紙を数枚敷き、新聞紙に包んだイモを
入れる。上部にも新聞紙を多めに覆って、ふたを閉める。
発砲スチロールの場合は、上部あるいは横に通気を図るため、小穴を数個開けておく。

・10~15℃の室内で保存をする。(冷蔵庫には入れない。低温障害を起こし傷むため。)
・収穫から1~2か月後、追熟して甘味が増し、美味しく食べられる。